

## 「札幌水源の森づくり2018」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 札幌水源林整備事務所

札幌水源林整備事務所は、平成30年8月25日（土）に、札幌市の創成川公園<sup>そうせいがわ</sup>で開催された「札幌水源の森づくり2018」（主催：林野庁北海道森林管理局、札幌市）に参加しました。

札幌市の市街を貫流する豊平川<sup>とよひらがわ</sup>は、札幌市民約197万人の生活を支える水道の大部分を供給しています。このイベントは豊平川の源流部にある国有林<sup>じょうざんけい</sup>（定山溪の森）に植える苗木を市民の皆さまに作成していただき、水源の森の大切さを知っていただくことを目的としています。

当事務所では、水源林造成事業のPRを目的に、来場者へパンフレットを配布し、森づくりの大切さについて理解を深めていただきました。また「漢字当てクイズコーナー」や「木のボールペンづくりコーナー」を出展し、多くの方々に楽しんでいただきました。

当日は、約400名の来場があり、また、会場では再生段ボールで作られた紙枠型ポット「カミネッコン（※）」を使ったポット苗づくりや「花の苗プレゼントコーナー」などが行われました。

なお、完成した400本のポット苗木（トドマツ・ミズナラ・ヤチダモ）は、その後、定山溪国有林に運ばれ、今秋9月29日に開催される植樹イベントで、市民の皆様とともに植付けを行う予定です。当事務所の職員も、苗作りから植付けまでの一連の行事に参加する予定です。

来年以降も多くの皆様にご来場いただき、イベントを通じて、水源林造成事業の意義や森づくりの大切さについて、理解を深めていただけるよう努めて参ります。

（※）「カミネッコン」とは、再生紙段ボールを使った紙枠型の植樹ポットのことで。



【記念撮影】

会場（創成川公園）



ボールペンづくり



ポット苗づくり



作成されたポット苗